

ロールアップバナーとタペストリーについてのお知らせ

地域ケア推進委員会と広報普及 IT 委員会は、地域での健康まつり・スポーツ大会・被災地でのボランティア活動・他医療介護専門職の集まりなど、鍼灸を紹介する場面や鍼灸体験の場面で活用するためにロールアップバナーとタペストリー（三種類）を制作しました。

ロールアップバナー（850mm×2000mm）は、地域での鍼灸ボランティア活動時に「看板」代わりに使用するために制作しました。

タペストリー（728mm×1030mm）は、「鍼灸」「鍼灸師の活動」を紹介する目的で制作しました。（テント生地製）

これらのロールアップバナー・タペストリーは、各都道府県鍼灸師会のご希望がある場合には、無料で貸し出しをさせていただきます（往復送料は利用者負担でお願い致します。）

尚、タペストリーのデザイン原稿は日本鍼灸師会の HP からダウンロードしていただき、プリントできますので治療院などで掲示していただくことが可能です。

ロールアップバナー・タペストリーのデザインは、下記をご参照ください。

→「ロールアップバナー」

ロールアップバナースタンド size: W850×H2,000mm



→ 「タペストリー」

鍼灸・鍼灸師の活動

「予防」から「キュア・ケア」まで

鍼灸は、疾病予防や介護予防、疾病への治療的介入や健康増進、ADLの維持・向上に有効です。
 鍼灸師は、外来鍼灸（鍼灸院）や在宅鍼灸（訪問）などで利用者の心身機能の改善と、また利用者の活動や社会参加を促すことによって生活の質（QOL）を高めることを目指しています。

※QOL(Quality of Life)
 自分らしい生活を送り、人生に楽しみや喜びを見出しているかということをも含意してとらえる概念で「生活の質」と訳されています。



公益社団法人 日本鍼灸師会
 Japan Acupuncture & Moxibustion Association

鍼灸・鍼灸師の活動

スポーツと鍼灸

各地のマラソン大会や市民スポーツ大会、オリンピック・パラリンピックなどの国際大会などでスポーツ愛好家からプロ・アスリートのコンディショニングやアフター・ケアに鍼灸師は活躍しています。



プロ・アスリートのトレーナーは鍼灸師が多くアスリートの治療を行っています。

災害時の鍼灸

国際医療技術財団(JIMTEF)などで災害医療研修を受け、災害支援鍼灸師として、災害派遣医療チーム(DMAT)やその他の医療職種災害派遣チームと連携しながら被災地で活躍しています。



災害発生時には、災害支援鍼灸師として登録された各都府県別の会員が被災地に派遣されます。

公益社団法人 日本鍼灸師会
 Japan Acupuncture & Moxibustion Association

「タペストリー 1」

「タペストリー 2」

鍼灸・鍼灸師

世界の鍼灸

鍼灸は伝統医療として、また統合医療として欧米(フランス・ドイツ・イギリス・アメリカなど)やアジア(中国・韓国・台湾・ベトナムなど)で活用されており、医師や鍼灸師が鍼灸治療を行っています。

国によっては「鍼灸」として医師等の診療科の一つになっています。

日本の鍼灸

日本の鍼灸の歴史は古く、701年制定の「大宝律令」の中で医療制度を定めた「医疾令」には、医師と並び鍼師が医療の担い手として記されています。日本鍼灸は、欧米・アジア諸国の鍼灸とは異なった日本独自のものとして発展してきました。現在は、医師または国家資格を取得したはり師・きゅう師が鍼灸を行っています。

はり師、きゅう師は国家資格です。

公益社団法人
 日本鍼灸師会

「タペストリー 3」